

ヒューマンプラザ(青年の家5館合同人権事業)

研 座 演 演 資 映 他 体 ワ

名古屋市教育委員会
名古屋市教育委員会青少年室
TEL 052-972-3258

実施年月日 実績等	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座 実施年月日：平成16年11月4日(木)～12月9日(木) (全8回) 参加人数：のべ25人 ● 体験ブース 実施年月日：平成16年10月24日(日)～11月21日(日) (全5回) 参加人数：のべ974人(ポイントラリーを含む) ● 映画会 実施年月日：平成16年11月28日(日) 参加人数：11人(青年の家関係分のみ) ● パネルディスカッション 実施年月日：平成16年12月5日(日) 参加人数：16人
主催(共催)	名古屋市教育委員会(名古屋市青年の家5館)
開催場所	名古屋市内の5館の青年の家(熱田・北・中村・瑞穂・宿泊)、名古屋市中区役所ホールなど
対象	主に市内在住・在勤・在学の15～29歳(中学生を除く)
人権課題	人権全般(とくに女性、子どもや障害者、高齢者、外国人、同和問題、新たな人権に関する課題など)

事業の目的

名古屋市では、「名古屋市新世紀計画2010」を策定し、2010年を目標年次とする長期総合計画にのっとった市政を展開している。その一環に位置付けられる「なごや人権施策推進プラン」では、「市民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない人権感覚に優れた『人間性豊かなまち・名古屋』という基本理念を掲げている。その中の一施策として、平成13年から市内の5館の青年の家で展開されているのが「ヒューマンプラザ」と称する人権事業である。

平成16年のヒューマンプラザでは、講座や体験ブース、映画会、パネルディスカッションの4つの事業を実施した。クイズ形式で人権問題を学ぶ「ヒューマンポイントラリー」や、手話体験や高齢者の疑似体験をはじめ、とくに体験型の取り組みを重視することで若年層の参加を促している。

事業概要

5館の青年の家を中心に実施された「講座」「体験ブース」「映画会」「パネルディスカッション」の概要は、以下の通り。

①講座

「北青年の家」を中心とした会場で、以下の8回の講座が開催された。受講料は無料で、来所、もしくは往復ハガキで受講申し込みを受け付けた。

- 11月4日(木) 「差別」について考える ～見えているのに見えないこと～(会場：北青年の家)
- 11月7日(日) 空飛ぶ車イス運動って何？ ～世界に目を向けて①～(会場：吹上ホール)
- 11月11日(木) 受刑者等をめぐる人権(会場：北青年の家)
- 11月21日(日) 薬物依存症からの回復 ～依存症について考える①～(会場：名古屋ダルク)
- 11月24日(水) 現代女性のストレスの現状(会場：北青年の家)
- 11月25日(木) ギャンブル依存症からの回復 ～依存症について考える②～(会場：北青年の家)

12月2日(木) 世界寺子屋運動って何？ ～世界に目を向けて②～(会場：名古屋国際センター)

12月9日(木) 人権感覚をさらにみがく ～見えなかったものが見える～(会場：北青年の家)

②体験ブース

1年に1回、各青年の家で催される「青年祭」では、毎年、人権問題に関心をもってもらうため「体験型」のブースが設けられている。平成16年には、子どもの人権への理解を深めるブース、車いすの体験コーナー、また外国文化の体験ブースなどが設けられ、子どもを中心に幅広い世代の参加者を得た。同時に、クイズラリー「ヒューマンポイントラリー」も開催され、参加者は楽しみながら、身近な生活の中にある人権問題への理解を深め、意識を向上させた。

③映画会

名古屋市が主催する人権映画会「ちょっと素敵映画会～やさしさがこころにふれる～」に参加し、人種差別をテーマにした映画『タイタズを忘れない』を鑑賞した。

④パネルディスカッション

「ふれあう、知り合う、分かり合う」をテーマとし、女性や子どもをはじめ、人権問題に深く関わる分野で活躍する6人の専門家を招いてパネルディスカッションを実施した。同和問題を含めた幅広いテーマが話し合われたほか、今後、若者に期待することなどについての意見交換も活発に行われた。

パネルディスカッション登壇者

- 安藤雅範さん(子どもの虐待防止ネットワーク・あいち キャプナ弁護士)
- 加藤善久さん(特別養護老人ホーム「緑生苑」生活相談員)
- 北仲千里さん(フェミニストサポートセンター・東海 理事)
- 佐藤久美さん(英字雑誌アベニューズ・エディター)
- 松崎直美さん(名古屋盲人情報文化センター)
- ※コーディネーター(名古屋市教育委員会人権教育室主査)

連携状況

チラシの配布をはじめとする広報活動において、各区の生涯学習センターや図書館、区役所の広報コーナー、文化小劇場などの協力を得た。

特色・工夫した点

公開講座(映画会、およびパネルディスカッション)では、講座とは異なるチラシを作成し、公共機関や地下鉄の駅に配布して参加者を募った。さらに、「広報なごや」「生涯学習なごや」、また青年の家講座チラシにも掲載するなど、広報活動には力を注いだ。

実施結果

参加者の反応・事業の反響等

車いすの体験や外国の文化に触れられるコーナーなど、各青年の家に設けられた「体験ブース」は、幅広い年代の関心を引き、「ヒューマンポイントラリー」と合わせて、とくに、子どもたちの参加が多く、おおむね好評だった。

反省点・今後の課題

講座については、新たな人権課題等について取り上げ、幅広く広報活動を行ったが、受講者が事前の予想を下回った。今後は、広報活動を充実させていくとともに、取り組み内容を検討したい。

平成16年には、講座の会場を主に「北青年の家」で開催したが、平成17年は、「熱田・瑞穂・中村青年の家」の市内3館で開催することとし、会場を増やすことで、より受講しやすくなるよう配慮する予定である。



平成17年度に行われた「ヒューマンプラザ」の事前配布チラシ